

もり あんずのさと みどりかい

森あんずの里みどり会（千曲市）

・組織の活動面積 A= 34 ha

・組織の構成員数 約 580 人

組織形態

共同活動 ■

資源向上(共同) ■

資源向上
(長寿命化) □

取組開始年度

平成26年～

平成26年～

—

構成員

農家、区長会、水対策委員会、有害鳥獣対策委員会、NPO法人あんずの里振興会、岡地・屋代口耕地組合

千曲市の東部に位置する森地区は「日本一のアんずの里」として全国各地から多くの観光客が訪れる約600世帯の小集落です。

農家の高齢化や後継者不足等から荒廃農地も目立つようになり、危機感を持った複数の団体により、「あんずの里」を守る取り組みがされてきました。これらの団体が「あんずの里みどり会」に結集し、それぞれ役割を担いながら、地域の環境と美しい景観を守る取り組みが始まりました。

日本一の「あんずの里」にふさわしい景観と環境を後世に引継ぐ！

総延長約14kmに及ぶイノシシ除けネットを地域全体に張り、毎年春・秋に地域住民総出でネットのメンテナンスと草刈りを実施しています。メンテナンス経費は全額交付金により賄われています。住民総出による作業は、地域コミュニティの醸成に大きな役割を果たしています。



森地区の中心を流れる沢山川。年2回、地域総出で草刈りやゴミ拾いを実施し、蛍が飛び交う環境をめざします。蛍の飛び交う時期には、蛍コンサートを開催し地域住民の環境に対する啓蒙を図っています。

一目10万本といわれる「あんずの花」。4月中旬には里一帯が淡いピンク色に染まります。この景観を守るとともに、「日本一のアんずの里」にふさわしい環境を後世に伝えることが私たちの願いです。

